

1月2日・3日に開催された
なかいち新春まつりのもちつき体験に
参加する親子の様子



あきた 市議会だより

No.181

令和3年
2月5日

11月定例会の概要	P 2～3
11月定例会の議決結果	P 3～4
一般質問	P 5～9
常任委員会の審査から	P 9
予算決算委員会各分科会の審査から	P 10
2月定例会のお知らせ (予定)	P 10

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索 (@akitacity_gikai)」
または「QRコード」で登録できます。



1月5日に開催された
秋田市中心・公設地方卸売市場「初せり式」では、
「宝船」の競りが行われました。

11月定例会の概要

11月30日～12月22日

11月定例会では、秋田市まちなか観光案内所条例を設定する件などの条例案6件、予算案15件、単行案9件をすべて可決しました。また、人事案1件に同意したほか、議員提案による条例案1件を可決しました。

予算

新型コロナウイルス感染症対策関連事業

大規模公園等維持管理経費

太平山リゾート公園等の指定管理業務において、感染拡大防止に必要なマスク等の購入費用および検温対応に係る人件費や、感染症による利用料金収入の減を補てんするため、指定管理料を増額します。また、指定管理者・太平山観光開発株式会社に対して平成11年に貸し付けた資金の令和2年度の元金償還を猶予します。

増額する指定管理料

2千816万3千円

猶予する元金償還額

1千200万円（歳入の減）



太平山観光開発(株)が指定管理をする
太平山スキー場オーバス



自殺対策事業

感染症拡大による失業や休業等を理由とした自殺や未然に防止するため、民間団体が行う相談体制の拡充に対し補助金を増額します。

65万円

アフターコロナ農山村資源活用調査経費

感染症拡大を契機とした社会変容や民間のウイスキー蒸留所整備計画の動きに合わせ、本市の農山村資源等を活用し、関係人口増加や地域活性化を図ることを目的として調査を実施するとともに、有識者等による検討委員会を開催します。

406万3千円

修学旅行キャンセル料支援事業

感染症に伴う修学旅行の中止または旅行先の変更等により発生したキャンセル料を補助します。

・小学校25校、中学校16校、高等学校等3校
510万4千円

文化創造館管理運営経費

令和3年3月に開館予定の秋田市文化創造館について、3年度の運営を円滑に行うため、指定管理の年度別協定を締結します。

1億2千742万6千円



開館準備の進む
秋田市文化創造館

秋田市ふるさと応援寄附金推進事業

令和2年度のふるさと納税寄附金が目標金額を上回る見込みであることから、謝礼品発送業務等の経費を増額します。また、3年度の円滑な寄附金受け入れに向けて、年度内に契約を締結します。

2年度補正額
4千561万9千円

債務負担行為設定
1億5千950万5千円
※10ページに関連記事掲載

子ども広場運営事業

フォンテAKITA内で、子どもが自由に遊び、親同士が情報交換できる場の提供や短時間の託児の運営を、3年間の複数年契約で民間委託します。

債務負担行為設定
4千651万8千円

次世代型学校ICT運用経費

令和3年度から開始するタブレット端末を活用した学習の円滑実施に向けて、ICT支援員による児童生徒への学習支援および教職員の負担軽減を図る業務を、2年間の複数年契約で民間委託します。

債務負担行為設定
1億4千868万6千円
※10ページに関連記事掲載

日新小学校増改築等事業

老朽化が著しい日新小学校の増改築および校舎敷地の拡張に向けて、用地調査および地質調査を実施します。

2千994万2千円



条例

**秋田市まちなか観光案内所
条例を設定**

まちなか観光案内所を設置し、その管理を指定管理者に行わせることとするため、条例を設定しました。

施行期日 3年4月1日から

議員提案による 条例改正

秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正

市議会議員の期末手当の支給割合を改定するため、改正しました。

施行期日 公布の日から

単行案

秋田市雄和ふれあいプラザの指定管理者を指定する件

指定管理者 社会福祉法人

秋田市社会福祉協議会

指定期間 3年4月1日から

8年3月31日まで



秋田城跡史跡公園連絡橋整備工事（上部工）請負契約を締結する件

工事場所 寺内焼山地内ほか

契約金額 1億7千721万円

契約先 住建・加藤建設

工事共同企業体

工期 3年10月29日まで

工事概要 けた製作工、鋼

式 橋架設工、擁壁工 各一



秋田城跡史跡公園連絡橋
完成イメージ図

秋田市営住宅等の指定管理者を指定する件

指定管理者 一般財団法人

秋田県建築住宅センター

指定期間 3年4月1日から

8年3月31日まで

人事

固定資産評価審査委員会委員

阿部 千鶴子氏（再任）

11 月定例会の議決結果

◆ 全員一致で可決・同意した議案 ◆

全員一致で可決・同意した議案は件名のみを掲載しています。

件名	
市 長 提 出	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件および職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する件
	秋田市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する件
	秋田市まちなか観光案内所条例を設定する件
	秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する件
市 議 員 提 出	秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更についての協議に関する件
	あきた芸術劇場の指定管理者の指定の期間を変更する件
	秋田市雄和観光花き栽培園の指定管理者を指定する件
	秋田市雄和ふれあいプラザの指定管理者を指定する件
	秋田市営住宅等の指定管理者を指定する件
	市道路線を認定する件
	県・市連携文化施設整備事業に係る建築等工事施行協定の変更協定を締結する件
	泉・外旭川新駅（仮称）東西自由通路整備工事請負契約の変更契約を締結する件
	秋田城跡史跡公園連絡橋整備工事（上部工）請負契約を締結する件

件名	
市 議 員 提 出	令和2年度秋田市一般会計補正予算（第7号）の件
	令和2年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第2号）の件
	令和2年度秋田市市有林会計補正予算（第1号）の件
	令和2年度秋田市市営墓地会計補正予算（第1号）の件
	令和2年度秋田市中央卸売市場会計補正予算（第1号）の件
	令和2年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第1号）の件
	令和2年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第1号）の件
	令和2年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第1号）の件
	令和2年度秋田市学校給食費会計補正予算（第2号）の件
	令和2年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）の件
	令和2年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第3号）の件
	令和2年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）の件
	令和2年度秋田市水道事業会計補正予算（第1号）の件
	令和2年度秋田市下水道事業会計補正予算（第1号）の件
令和2年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）の件	
人事案	秋田市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件
議員提出	秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件

←4ページに続きます

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 (PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



答 本市における同感染症関連対策については、令和2年度、国の地方創生臨時交付金をはじめとする財源を最大限活用しながら、感染拡大の抑え込みと社会経済活動の回復に取り組んでいるところです。3年度においても、感染拡大防止策や経済対策等に引き続き取り組むこととしており、予算編成に当たっては、国の動向を注視するとともに、感染症の影響に伴う社会情勢の変化を的確に把握しな

問 市内経済を回復させるため、新型コロナウイルス感染症対策の予算を重点配分するべきではありませんか。

◇市長の政治姿勢◇菅政権への期待◇令和3年度当初予算等◇少子化対策等◇コロナ禍における秋田港への影響等◇国際教養大学とのかわり◇雄和地域における雄物川流域の災害対策等◇秋田米新品種「サキホコレ」◇タクシーの活用等◇地域の課題



感染症対策予算の重点配分
子育てしやすい環境づくり

秋水会
工藤 かつとむ
知彦 ともひこ

がら、適切な対応を講じていきます。

問 コロナ禍において、全国的に出生数が減少しているとの報道がありますが、本市の状況はどうですか。また、本市で安心して子どもを生み育てるための対応策についてどのように考えていますか。

答 本市の出生数は、令和2年1月から11月末までで1千616人と、前年同期期から50人の減少にとどまり、減少幅は縮小しています。また、本市では、秋田市版ネウボラをはじめとした相談体制の充実を図るとともに、保育料無償化や子どもの医療費助成等の子育てにかかる経済的負担の軽減などに取り組んでおり、コロナ禍においても、より一層安心して子どもを生み育てることができると環境づくりに向け、引き続き各種施策を実施していきます。

◇市長の政治姿勢◇コロナ禍における予算のあり方◇脱炭素社会の実現に向けた本市の取り組み◇アニメーションによる本市の活性化◇会計年度任用職員制度◇防災・減災教育



修学旅行での防災・減災教育
アニメによる観光等のPR

市民クラブ
藤枝 ふじえだ
隆博 たかひろ

問 市立小中学校における防災・減災教育の一環として、修学旅行などで被災地の震災遺構や東日本大震災津波伝承館等を訪れる機会を積極的に設ける考えはありますか。

答 子どもたちが実際に被災地を訪れ、被害の状況や防災・減災の取り組みを学ぶことは、震災を記憶にとどめ、防災意識を高める機会になるものと考えられています。そのため、各校において修学旅行などを計画する際の参考となるよう、各地の震災遺構等の施設や震災に関連した体験プログラムなどについて、改めて情報提供していきます。

問 本市の魅力である観光・特産物・グルメ・文化芸術・スポーツ等の宣伝広報活動を充実させる一環として、民間アニメーション会社と連携したプロジェクトを立ち上げ、アニメーション動画をPR媒体とする考えはありますか。また、その財源をふるさと納税やクラウドファンディングで募集する考えはありますか。

答 本市では、観光や特産物、グルメなど、さまざまな分野が持つ魅力を、ホームページやSNS、パンフレットなどを活用して、広く情報発信に努めているところです。アニメーション動画の活用は、本市のプロモーションや観光誘客などに効果が期待できることから、今後、先進事例等を調査しながら、財源も含めた対応を検討していきます。



■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

2月定例会の本会議は、2月15日、25日、26日、3月5日、18日に開催予定です。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



友誼亭の修復整備
卒業式等の制限に係る対応等

フロンティア秋田
藤田 信

◇新型コロナウイルス感染症
◇外旭川複合施設構想◇新スタジアムの整備◇身寄りがない人の入院及び葬儀等◇買い物弱者問題：ほか

問 中国蘭州市との友好提携を記念して建てられた一つ森公園の友誼亭は、建築後33年が経過し、損傷が見られることから立入禁止となつていますが、令和4年に友好都市提携40周年を迎えるに当たり、早急に修復整備を行うべきではありませんか。

答 友誼亭は、経年劣化により全体的に傷みが見られるほか、屋根全体の損傷が著しいことから、令和2年2月に立ち入り禁止としております。現在、劣化状況の調査、修繕方法の検討などを進めており、早期に利用を再開できるように、修復整備に努めていきます。



問 市立小中高各学校等の卒業式や入学式に保護者の出席を制限する際の判断基準はありますか。また、制限した場合には、保護者に対してどのような対応をするのですか。

答 卒業式等の実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染状況を十分に踏まえる必要があると考えていますが、現段階では、参加者の安全安心を第一に考え、会場内の座席配置や内容の精選など、各校の実情に応じた工夫を行うこととしております。なお、感染症対策が十分に取れないことを理由として、保護者の参加人数を制限せざるを得ない場合は、PTAと協議の上、別室からの式典の視聴や、録画したDVDの配布などの対応を検討する必要があります。と考えています。



◇市長の政治姿勢◇コロナ禍における市政運営等◇災害への備え◇市民の文化活動の振興



指定避難所のトイレの改善
本市独自の給付金の支給

日本共産党
秋田市議会議員団
鈴木 知

問 車いすやオストメイトに対応していない指定避難所のトイレは、改善を図るべきではありませんか。

答 指定避難所のトイレの多機能化については、各施設の施設管理者が施設を整備する中で計画的に行うこととしております。整備されていない指定避難所での対応としては、備蓄している車いす対応型仮設トイレやオストメイト用ポータブルトイレを設置することとしております。また、指定緊急避難場所を設置している屋外トイレについては、凍結防止等の理由により冬期間の使用を制限しており、洋式化については、施設管理者の判断により、施設の改善等に合わせて計画的に行ってまいります。

問 特別定額給付金は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として家計への支援が行われましたが、給付基準日以降の令和2年4月28日から3年3月31日までに生まれた子どもにも本市独自に給付金を支給すべきではありませんか。

答 本市では、国の緊急経済対策に対応した児童手当受給者や低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金の支給に加え、妊産婦の不安解消のため、希望する妊婦へのPCR検査費用を補助するとともに、感染した妊産婦への相談支援を行う体制を整えたところです。特別定額給付金の基準日以降に生まれた子どもへの本市独自の給付金については、現在のところ支給する考えはありませんが、コロナ禍における子育て世帯への支援について、引き続き国の動向を注視してまいります。

行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「マチイロ」できた市議会だよりを配信しています。

専用アプリをダウンロードしてご利用ください。
※マチイロ公式サイト <https://machihiro.town/>



アプリダウンロード
QRコード

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 (PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



本市への移住促進の取り組み
行政のデジタル化への対応

公明党
秋田市議会
牧野まさきの
まもる守

◇本市行政のデジタル化◇農地つき空き家の利活用による定住促進の取り組み◇引きこもり支援：ほか

問 本市への移住促進などの理由から、空き家バンクと農業委員会の手続きを連動させ、空き家バンクに登録された空き家に付随している農地の下限面積を1アール程度まで引き下げ取り組みを行ってはどうか。

答 農地付き空き家は、郊外に所在することが想定され、その利活用において、さまざまな制約を伴うことは認識しています。他都市では、移住促進等のため、空き家バンクと農業委員会が連携した取り組みも増加傾向にあり、今後は、他都市の取り組みを注視するとともに、制約要件の緩和等について、必要に応じて関係部局と協議していききたいと考えています。

問 デジタル化のための市内組織を新設するに当たり、どのような人材を配置するのですか。また、デジタル化を進める上で、部局横断的に業務を行う職員や新たなシステムへの移行が必要となりますが、その対応をどのように行うのですか。

答 国では、新たなIT戦略として、マイナンバー制度の利活用など、多岐にわたる施策を展開する予定です。本市においても、各種申請のオンライン化を一層進めるほか、先端技術の活用などにも取り組むこととしており、必要な人材配置についても、部局横断的な組織体制のあり方と併せて検討していきます。また、新たなシステムへの移行に当たっては、分かりやすいマニュアルの作成や操作手法の指導を徹底するなど、職員への負担が少なく効率的に移行できるように努めていきます。



子どもの人権の尊重
本市独自の経済支援策

そうせい
小松こまつ
たける健

◇ウイズコロナ・文明的転換

問 子どもの人権・人格が尊重・擁護される社会環境づくりを図るため、児童の権利に関する条例および、いわゆる秋田市子ども条例の理念や精神を踏まえた人権教育・人権啓発活動の推進に向け、さらに注力してはどうですか。

答 本市では、秋田市子ども条例を踏まえ、第3次秋田市子ども・子育て未来プランを策定し、同プランの基本理念には、子どもにとって「いちばんの幸せ」を「子どもの視点」から考えることを掲げています。この基本理念の下、一人一人の子どもの人権・人格が尊重・擁護される社会環境づくりを引き続き努めていきます。



問 今後、コロナ禍の影響の長期化かつ甚大化が見込まれる場合において、財政調整基金の活用などによる、市民生活等を支えるための本市独自の支援策を講じる考えはありませんか。

答 本市では、感染の拡大防止と経済活動を両立させるための各種支援策を講じてきたところです。しかし、今後、感染の再拡大に伴う景気の下振れが懸念されるとともに、一度収縮した経済の回復には、一定の時間を要することなどから、各種支援策により下支えされてきた市内事業者が、経営に行き詰まるケースも想定されます。そのため、これまでのコロナ対策事業の効果や今後の景気の動向、国や県の対応策等も注視しつつ、鋭意必要な支援策について検討を進めていきます。



議会の動き

11月25日 各派会長会議
議会運営委員会
30日 11月定例会
(12月22日まで)

12月22日 各派会長会議
1月7日 編集委員会
20日 厚生委員会(閉会中)
22日 総務委員会(閉会中)

2月1日 全員協議会



本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。



収入保険加入者への独自助成
農福連携の現状と取り組み

秋水会
佐藤 さしろう

宏悦 こうえつ

◇新型コロナウィルス感染症への対応◇デジタル市役所の実現に向けた取り組み◇（仮称）家庭教育支援条例◇青少年対策の充実◇本市における性教育◇本市農業の諸課題◇人口減少対策◇卸売市場の再整備及び新スタジアム整備◇外旭川地区のまちづくり

問 農業経営の収入保険加入者に対して、本市独自に助成を行う考えはありますか。

答 収入保険については、制度内容の周知が不十分なことに加え、青色申告が要件になっていることや、保険料負担の大きさなどから加入率が低いものと認識しています。そのため、さまざまな機会をとらえて制度内容の周知を図るほか、本市独自の助成については、収入保険のニーズや他都市の状況を調査するなど、必要性を研究していきます。

問 農福連携（※）の現状と今後の取り組みはどうですか。

答 市内においては、育苗施設での福祉施設入所者の就労や、植物工場等での障がい者雇用の事例があります。本市としても農福連携の重要性は認識しています。が、農業法人に実施した調査では、8割以上の法人が障がい者の受け入れに慎重であり、農福連携について、理解が進んでいない状況にあります。農福連携を推進するためには、障がい者等への技術指導に対する不安解消や繁閑期の作業量の調整などの課題があることから、今後、関係部局などと連携を図りながら、課題解決に向けた方策を検討していきます。



生産年齢人口確保の戦略
外旭川地区のまちづくり

秋水会
小木田喜美雄

◇市政運営に対する市長の基本姿勢◇令和3年度予算編成等◇新型コロナウィルス感染症の影響と今後の対応策◇教育・文化財行政及び児童虐待防止◇人事管理・組織体制◇土地区画整理事業及び都市計画道路の見直し◇スポーツ行政◇地域の諸課題

問 秋田市人口ビジョン（改訂原案）で、2040年に約26万人の将来人口を目指すとしていますが、特に生産年齢人口確保のための具体的戦略は何ですか。

答 人口ビジョンの将来分析に基づき策定する次期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点的な取り組みとしては、若い世代が子どもを生み育てやすい環境づくりなどにより、本市の将来を支え、元気な秋田市づくりの核を担う次の世代がいいきいきと暮らすことができるまちの実現につなげていきたいと考えています。

問 卸売市場の建て替え、新スタジアム整備、複合商業施設開発構想については市長の政治的判断と見解はありますか。

答 次期総合計画の基本構想の原案で、今後のまちづくりのモデルとして民間との協働により、人口減少・少子高齢化に伴う地域の課題解決につなげていく必要があるとの認識を示しました。これは人口減少が進む中において、産業経済基盤の強化が地域の活力を高める大きな力になるという基本認識に基づくものであり、モデル地区において先端技術を活用した実証事業等に取り組み、その成果をモデル地区外への普及や新たなビジネスへの波及などにつなげようとするものです。モデル地区は、卸売市場の再整備や新スタジアムの整備候補地の選定、民間からさまざまな提案等もある外旭川地区に設定したいと考えています。

※ 「農福連携」とは…

障がい者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。



一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 (PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



日新小学校の建て替え
認知症高齢者の見守り

秋水会
あかさか
赤坂

こついち
光一

◇人口減少社会への対応策◇
地域資源を生かしたまちづくり
◇認知症への取り組み◇大
森山動物園◇人事◇地域の諸
課題

問 日新小学校の将来の学習環境を見据え、敷地を拡張し、現地での建て替えをするべきではありませんか。また、新屋地区の地域特性等との調和を考慮し、新校舎を木造とする考えはありませんか。

答 同校の建て替えに当たっては、敷地が狭隘なことから、他の候補地への移転も含め検討してきましたが、地震や津波、洪水に強いという防災上の観点や費用対効果の面から、現在の敷地を拡張し、建て替えを行うことが、もっとも望ましいと判断したものです。また、新たな校舎の構造については、建築基準法の改正により、木造による3階建て校舎が建築可能となったことを踏まえ、新屋地区の地域特性等との調和など

も考慮しながら、今後、専門家の意見や他都市の状況などを参考に検討していきます。

問 認知症高齢者の見守りについて、本市としてどのように取り組んでいますか。また、大館市の「徘徊高齢者見守りシール」のような新たな取り組みを検討してはどうですか。

答 本市では、行方不明高齢者の早期保護と身元確認のため、本人の情報を警察と共有するとともに、高齢者に登録番号付きのシールを配布する、認知症等高齢者事前登録事業を実施しており、11月末日現在187名の方が登録しています。見守り対策については、QRコード付きのシールのほか、GPSによる位置検索など、さまざまなツールがあることから、今後、より効果的な方法について検討していきます。

常任委員会の審査から

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 県・市連携文化施設整備事業に係る建築等工事施行協定の変更について、建築工事費の増額のうち、施工条件変更に伴うものは施工者側の都合によるものと思われませんが、その具体的な理由は何ですか。

企画財政部 建築工事の施工条件の変更に伴う増額は、汚泥の処分場の変更および鉄骨製作工場の変更に伴う運搬費の増額等によるものです。その具体的な理由として、当初、県内の処分場および工場を予定していましたが、建築工事の工期が延長になったこともあり、受け入れ日程の確保が困難になり、受け入れ先の範囲を近県にまで広げざるを得なかったことによるものです。



建設工事中の
あきた芸術劇場

厚生委員会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 秋田市国民健康保険条例の一部改正は、地方税法の一部改正により、基礎控除等の額が変更になったことに伴うもので、なることは理解できますが、なぜ減額基準額が複雑になっているのですか。また、この改正により、負担が増える世帯はあるのですか。

市民生活部 本条例改正の前提となる地方税法の一部改正では、給与所得控除額および公的年金等所得控除額が引き下げられ、その分、基礎控除額が引き上げられたものですが、同一世帯に複数人の給与所得者等がある場合、変更額分の単純な改正のみでは不利益が生じる世帯もあることから、所得者の人数に応じた調整額を減額基準額に加えたものです。また、この改正により、負担が増える世帯はないと見込んでいます。

予算決算委員会各分科会の審査から

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 秋田市ふるさと応援寄附金推進事業は、同寄附金額が目標準を上回る見込みのため、返礼品等の必要経費を増額補正することですが、令和2年度の同寄附金額から経費を差し引いた金額を幾らと見込んでいますか。また、3年度の同寄附金の目標額を幾らに設定する考えですか。

企画財政部

2年度当初予算の歳入として、同寄附金を2億1千300万円計上していましたが、現在の寄附状況から、9千200万円増の3億500万円になると見込んでいます。その場合、経費を差し引いた金額は、約1億5千万円と考えています。また、3年度の同寄附金の目標額は、2年度の実績を勘案して、前年度比1億1千400万円増の3億2千700万円に設定したいと考えています。



厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 在宅子育てサポート事業の各種クーポン券については、コロナ禍により外出等が制限されるなど、事業開始当初と状況が異なりますが、おむつなどの消耗品と交換するなど、より多くの方に利用していただけるような新たなプランの検討はしているのですか。

子ども未来部

同クーポン券で利用できるプランについて、例えば、消耗品などの物品と交換する場合、商品を取り扱う小売店等の店舗数が多く、それぞれ個別に登録手続き等を行わなければならないなどの理由から、実施は困難と考えています。そのため、現状では、遠足プランで利用するバスの座席の間隔を空け、密を避けながら運行するなど、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、既存のプランを実施しています。また、利用者からの意見も聞きながら、より利用しやすいプランの検討を行っています。

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 次世代型学校ICT運用経費について、これまでの説明では、令和3年度以降のICT支援員を4校に1人、16人配置するとしていましたが、今回その配置を2校に1人、32人に倍増した理由は何ですか。また、同支援員の配置に係る委託契約は2年間を予定していますが、その後の配置についてどのように考えていますか。

教育委員会

同支援員の配置について、当初は国が目標としている水準に基づいて16人としていましたが、より手厚い学習支援を実施するため、2校に1人、32人を配置することにしました。また、委託期間が終了した後の同支援員の配置については、ICTを活用した授業づくりや教職員の多忙化の状況などを見極めながら判断していきたいと考えています。



建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 交通系ICカード導入推進事業について、繰越明許費を設定していますが、その理由は何ですか。

都市整備部

バス事業者において、交通系ICカードの導入について協議・検討する予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により検討が進まず、その結果、導入時期を延期せざるを得ないと判断したことにより、年度内の業務完了が困難となったため、繰越明許費を設定するものです。



交通系ICカードの導入を予定しています



2月定例会のお知らせ(予定)

■日程

2月15日	本会議
25日、26日	本会議「代表質問」
3月1日	常任委員会・分科会
2日	分科会
3日	常任委員会
5日	本会議「一般質問」
8日	常任委員会
9日～12日	常任委員会・分科会
16日	常任委員会
18日	本会議

※日程、代表および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

■代表質問予定者

会派（3人以上所属の会派）を代表して質問します。

熊谷重隆（秋水会）
花田清美（市民クラブ）
小林一夫（フロンティア秋田）
石塚秀博（公明党秋田市議会）
佐藤純子（日本共産党秋田市議会議員団）
齊藤勝（そうせい）

■一般質問予定者

工藤新一（市民クラブ）
倉田芳浩（フロンティア秋田）

今回のあきた市議会だよりは令和3年5月7日発行予定です。

